

岐阜支社 岐阜市柳ヶ瀬通1-12
 岐阜中ビル8階 058(266)7576
 F A X 058(262)6571
 濃支局 多治見市精華町73
 セントラルコーポ多治見306号
 0572(23)7812
 F A X 兼用

●西濃支局 大垣市本町2-6
 スタッ I 602号
 0584(75)1289
 F A X 兼用



【瑞浪】岐阜県下で後の活躍を誓った。十番目の倫理法人会となる「岐阜県瑞浪土岐準倫理法人会」(林勇会長)が発足した。観を育成する意識が地土岐二市の企業を中心

企業モラル浸透誓う

瑞浪土岐準倫理法人会が発足

岐阜県下で後の活躍を誓った。十番目の倫理法人会となる「岐阜県瑞浪土岐準倫理法人会」(林勇会長)が発足した。観を育成する意識が地土岐二市の企業を中心



瑞浪土岐準倫理法人会開設式の様子。林勇会長が挨拶を述べている。



講演するアミー教授

タイヤ廃材にバグ

いなり大垣 チューブ部分を使用



タイヤチューブを再生したオーダーメイドのショルダーバッグを手にする近澤取締役

タイヤチューブをバッグや雑貨に再生。自動車用タイヤ・用品販売を手掛ける、いなり大垣(本社大垣市島里二ノ八五、近澤俊之社長、電話0584・89・2786)は雑貨店とのコラボレーションにより、廃棄していた古いタイヤチューブを再利用して、オーダーメイドのバッグや雑貨の製作を始めた。考案した近澤親一取締役は「チューブのゴムは丈夫で耐久性がある。以前から捨てるのには惜しいと思っていた。廃棄物削減の一環として再利用できないかと考えた」と話す。試作品も完成し、今後は消費者への提案と並行し、新たな用途開発も模索する。

再生へ雑貨店と連携

オーダーメイド品展開

製作を担当する雑貨店は、kittos(岐阜市橋本町一ノ一〇ノ一・アクティブG三階、柴山照子代表、電話058・265・8548)。手づくりの雑貨、バッグの製作を手掛けている。

【羽島】健康食品メーカーの日健総本社(本社羽島市福寿町浅に廃タイヤチューブを平一ノ三三、森伸夫社長、電話058・393・0500)は、大垣市万石の大垣フォールムホテルで、イスラエル国立海洋湖沼研究所のアミー・ベンアモツ教授を講師に招いて特別講演会を開催、販の第一人者。「輝かし

「ドナリエラ」の最新情報

日健総本社が特別講演会 講師にアミー教授

サイズや製品番号の数字などを組み合わせ、デザイン性を高めている。このほか、キーホルダーなども製作。廃チューブを使う部分やバッグの色、形状は相談しながら依頼者の要望に応じていく。「丈夫で衝撃を吸収する特性もあり、使用頻度の高い部分にはびったり。愛着を持って長く使ってもらえる、こだわりのものを作りたい。リサイクルしたいのに、すぐに捨てられ

ては意味がない」(近澤親一)と、既製品ではなく、オーダーメイドにこだわる。今後、廃タイヤなど廃材の再利用も検討していく。「顧客からのアイデア、要望を聞きながら新たな利用方法を探していきたい」と意欲を見せている。

機械関連の人材養成講座

美濃加茂会議所

【美濃加茂】美濃加